

今年度も残すところあと少しとなり、次年度・卒業後の進路に向け、引継ぎや支援の橋渡しを考えていく時期となりました。支援者が継続して行う取組、効果的な支援を次へ繋いでいくだけでなく、子供自身が「これができる」「こうしたらできる」ことを、自信をもって伝えることができるといいですね。

相談したいことはあるけれど、例えば・・・

- ・ 何から相談したら良いか分からない。
- ・ 来校相談や訪問相談等で十分な時間が取れない。
- ・ とにかく悩みを聞いて、思考の整理を手伝って欲しい。



このような時は

オンライン相談を活用してみませんか？

幼児児童生徒の様子を直接参観することが難しくても、相談者から聞き取った内容をリアルタイムでホワイトボードに書き出し、画面を通して視覚的に整理・共有することができます。そして、一緒に重点課題を抽出し、効果的な支援の手掛かりを見つけ出して、明日からできる支援を考えていくことができます。

また、画面を通して教材を紹介したり実演したりすることもできます。



依頼は、電話一本でOK！



「オンライン相談の概要」や「オンライン相談の実際」の動画を、現在、尾道特別支援学校しまなみ分校と一緒に作成しています。

完成後、ホームページに掲載しますので御覧ください。

相談する前に、「まずはオンラインを試してみたい」という場合も御連絡ください。

Meet・Zoomの接続練習をしたい！ 幼児児童生徒の支援について考えたい！

特別支援学校の教材教具を知りたい！ 授業づくりについて相談に乗ってほしい！

「きこえ」について相談に乗ってほしい！ 学習指導案の検討をしたい！



# 知的障害部門小学部の取組紹介

ホワイトボードを活用して個に応じた学習を！



ちがいは なんこ？

洗濯バサミとカードで数字の勉強もできます！



印に合わせて洗濯バサミを付ける課題です。印をなくして難易度を上げることができます。

教師が同じ内容をクラス全体に説明していても、『児童の実態に応じ』てホワイトボードの内容を変え指導を行っています。例えば算数の文章題を考える時、式を使った計算ができる児童はホワイトボードに立式して問題を解くことができます。数を数えることができる児童は、数を数えて数字を書く練習をしたり、磁石を操作して数の変化を確かめたりすることができます。また、ホワイトボードマーカーは鉛筆より太いので、握りやすく弱い筆圧でもしっかりと書くことができます。

# 将来の社会参加のために 知的障害部門中学部の取組紹介

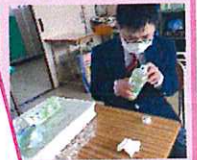
将来の社会参加を目指して、生徒の興味や関心も大切にしながら、体験的な内容を取り入れた活動をしています。  
今回は、`総合的な学習の時間`の様子を紹介します。

昨年12月に、中学部3年生は本校の近くの公園に出かけ、公園内の落ち葉を集めました。歩いて10分間くらいですが、その間に、「道を広げずに一列で歩くこと」、「信号を見て横断歩道を安全に渡ること」、「地域の方にお会いしたら挨拶をすること」、そして、「持参した掃除道具を使って落ち葉を掃き集めること」等を行いました。挨拶や清掃等、校内でも日常的に行っている力を発揮しながら、楽しく終わることができました。挨拶を返してくださった地域の方々、ありがとうございました。



ごみの分別やリサイクルについて動画を見て学んだ後、ペットボトルの蓋やビニールをはがして分別しました。日頃から物を大切に使い、ごみの分別を行ったりできるように声かけをしています。

ペットボトルの蓋をはずしたり、ビニールをはがしたりすることも、初めはよく分かりませんが、試行錯誤しながら取り組むことで、上手にはがし分別できるようになりました。



# 知的障害部門高等部の取組紹介

実習だより



1年生は、11月にナフコ尾道店、12月にワークスさつき、ハートコープおのみちの3ヶ所の事業所に協力していただき、初めての就業体験を行いました。仕事の大変さ、あいさつや返事の大切さ、体力の必要性など様々なことを実感することができました。

～実習を終えて～（2年生 生徒の感想）



特に頑張ったことは、周りを見て安全に掃除をすることです。人がいないか、物が通らないか気をつけて清掃しました。難しかったことは、次の動きの判断です。今回の実習では、安全に作業することの大切さや、仕事を覚えて自分で判断して動くことの大切さを学ばさせていただきました。このことを、これからの学校生活や実習に生かしていきたいです。



3年生はこれまでの実習を通して、それぞれの卒業後の進路を決めることができました。たくさんのご支援ありがとうございました。

## オンライン交流をしました！ 聴覚障害部門の取組紹介



本校の聴覚障害部門小学部6年生と中学部1年生が、それぞれ広島南特別支援学校と呉南特別支援学校聴覚障害部門とオンライン交流をしました。また小学部6年1組の児童は、昨年度に引き続き福岡県立直方特別支援学校聴覚障害教育部門小学部6年生ともオンライン交流を行いました。

離れた場所にいる友達が、どのような経験をしているか、どのようなことに興味をもっているかを知ることは視野を広げるきっかけとなり、また多様な考えに触れることのできる機会となります。クラウド（Google for Educationの「Classroom」）やFAX等を活用して、事前に交流で用いる資料や質問事項を共有したり、報告したいことをパワーポイントにまとめて提示したりと、コミュニケーションがとりやすい環境を児童生徒と一緒に考え整えました。また、画面越しの交流だからこそ、直接会って話す時以上に、相手に分かりやすく伝えるにはどのようにしたらよいのかを考え、身振りや手話の大きさ、口の開け方に気を付けて行いました。

# 今年度もセンター的機能を

多数御活用いただきありがとうございました。



## ちよこっと紹介

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら、巡回相談、訪問相談等多数御利用いただきました。

来校相談では幼児児童の成長を保護者と一緒に共有したり、訪問相談では相談者と一緒に様々なケースを検討したりしました。

また、訪問相談でも、各施設・学校の職員・先生方の素敵な取組から

こちらが学ばせていただくことも数多くあり、その一部を校内に掲示して紹介し、共有させていただいています。

**中学校 地域で見付けた！授業の工夫**  
～生徒の学習意欲を引き出す編～

学習の定着を図るためには、学んだことを身に付けるための何回かの復習が必要ですが、しかし、苦手な教科はなかなか意識が定着せず、「復習はまた明日やろう」といついつ先送りにしてしまったり...という生徒がいるかもしれません。そんな時、生徒が能動的に活動するための工夫を紹介しました。

事例：中学校第2学年「図形の性質」  
単元の最初の学習として、ピッチングゲームを取り入れています。

【グループ】  
25問の角の問題  
① グループで協力して、角の問題（今回は25問）を解きます。  
② 25問の答えを、グループで相談して好きな位置に貼ります。角の問題の答えが分かるよう、左上に問題番号も記入します。

【グループ】  
25問をグループで協力して解く必要性を作る。  
【グループ】  
答えを確かめたいような状況を作る。

同席するよう、互に一人一人の責任をもつことで、取り組みが、めげない状態を維持し、答え合わせもスムーズに行われます。

**小学校 特別支援学級**

地域で見付けた！教材の工夫  
～「オセロ板を活用した九九構成の指導」編～

★「一つ分の大きさ」×「いくつ分」の指導にオセロ版が使える！

児童によっては、九九を覚えることが難しい場合、九九構成の理解が難しい場合があります。その時は、右図のようなアレイ盤を用いることがあります。縦が「一つ分の大きさ」を、横が「いくつ分」を取っています。ある小学校では、オセロを教材として活用し、児童が具体的な操作をしながら理解を深めることができる工夫をしていました。

オセロゲームの縦×横のマスは8×8、縦横は9マスと決まっています。

オセロは2色あるので、ペア活動で行うと、やりとりを通して楽しみながら九九の構成の理解を共有し、興味がよくなります。

★計算の工夫のいろいろ

(1)「ひっくりかえる」術 (7×5=5×7)

引き続き御相談・御活用ください。

郵送及び手交配布用の「地域支援だより」は、(教員から業務依頼を受けた)高等部生徒が作業学習で折り作業をしています。



## センター的機能の御案内

本校では、特別支援教育（聴覚障害、知的障害、発達障害）に関する各種相談を承っています。

- ◆来校相談
- ◆巡回相談
- ◆電話相談
- ◆研修協力等
- ◆乳幼児教育相談（聴覚障害部門のみ）
- ◆オンライン相談
- ◆就学等に関する相談

まずは、お気軽に下記まで御連絡ください。

<聴覚障害部門対象地域>  
尾道市、三原市（大和町を除く）、福山市、府中市（上田町を除く）、世羅郡（小国、上津田、黒川、下津田、中、長田、山中福田、吉原を除く）

<知的障害部門対象地域>  
尾道市、（百島、浦崎、因島、瀬戸田を除く）

〒722-0022

広島県尾道市栗原町 1524

電話：0848-22-5248

FAX：0848-22-5249

<http://www.onomichi-sd.hiroshima-c.ed.jp>

担当 聴覚障害部門（新田）

知的障害部門（新林）

